

第13回雪のラブレター募集(入賞作品)

【俳句の部】

賞	最優秀賞
作品	ゆきやま きみ ひとみ 雪山に君の瞳をさらわれる
作者	きしの ゆかり 岸野 由夏里
住所	京都府
講評	久々に青空の広がった雪国。彼につられて行ったところは、彼自慢の絶景の場所。真青な空にそびえ連なるキラキラと輝く雪山にただただ立ち尽くすばかり…。彼女の瞳を離さないその美しい自然の色彩と造形に嫉妬さえ覚えてしまう彼がすぐそばに居る。一気に吐き出したようなリズムが「さらわれる」の言葉をより活かして切れ味鋭い臨場感を生み出している。長く頭から消えることない好句であろう。

賞	優秀賞
作品	ゆきぐつ さき ふ あ 雪靴の先が触れ合うカフェテリア
作者	はなふう
住所	奈良県
講評	カフェテリアの窓際の席。外は昨日からの雪で真っ白、そして今も雪は降りつづく。ふたりの今日の予定はダイナシ…。でも、こうして向き合っている話をしていると、ときどき靴の先が触れ合うこともなぜか楽しい。ふたりで黙って外を見ているときも靴の先がトントンと触れる…。日常の些細な事にどれだけ多くの詩が隠れているかを教えてくれるような俳句である。普通の靴ではない「雪靴」がキーパーソンである。
作品	ゆき こい ちか 雪だるまどうしも恋をする近さ
作者	福家
住所	京都府
講評	さてこの句、恋人どうしがそれぞれつくって並べられた雪だるまと見るか、それとも、たまたま通りすがりに出会ったふたつの雪だるまと取るべきか…。「も」の一字をそのまま普通に意味取れば前者であろう。が、私はなぜか後者のように、ただ目の前にある誰かがつくった二つの雪だるまを見ているだけの光景としたい。今、私には恋する人がいる、いつも近くにいてくれる人がいる…。そんな恋する人だからこそその視点、見え方なのではないだろうか。詩は現在の獲得であり、俳句もまた然りである。

賞	佳作
作品	いつか ^す 住む ^{いえ} あなたの家の ^{ゆき} 雪おろし
作者	橘孔雀
住所	福井県
講評	一読明快、恋の甘さがさすがすがしくさえ思えてくる俳句である。それにしても「いつか住む」と言うことは、いまだ何も決まっていけないのであろう。しかし私はすでに心に決めている。いつか必ずこの家に嫁ぐ事を……。たんと進めてゆく力仕事の最中、女性の強さといじらしさが伝わってきて心揺れる。一日もはやく「いつか」が「いつ」になりますように……。
作品	雪 ^{ゆき} だるま ^{まゆ} 眉 ^い の位置 ^ち をきめかねる
作者	しら ^い 石 ^{まきよし} 雅義
住所	千葉県
講評	このコンクールの応募作は毎回雪だるまを詠んだ句がとても多く届く。雪だるまが彼(彼女)に似てしまったとか、ふたりでつくる雪だるま、あるいは雪だるまが解ける頃に恋が終わった等々……。しかし、この句はちょっと違う。まずドラマを述べていない。多くの人はどうしてもふたりだけのドラマを言いたいのであろうが、ここではただ眉毛の位置に悩んでいるというだけである。しかし「どうして決めかねているのだろう」というところこそ、読者の体験と想像力の出番である。眉毛ひとつで私達の顔もずいぶん違うものになってしまう。はたして恋人に似せたいのか、恋敵に似せて雪玉でもぶつけようというのか……。
作品	ゆい ^{のう} 結納 ^ぬ を濡らさぬように ^{ゆき} 雪 ^ふ が降る
作者	浜ぶどう
住所	鳥取県
講評	いろいろな事があつたけど、やっと正式なこの日を迎えた。昨日からの生憎の雪はまだ降りつづいている。やや着飾ったふたりと親族一同がうち揃いおごそかに結納の儀式がとり行われようとしている。雪よどうかこれからしばらくの間、おとなしく降っておくれ、お願いだから……。この句「結納品」と解してしまうといきなりつまらなくなってしまう。結納という佳き日全体の空気、空間と解すべきであろう。見事な把握である「濡らさぬように」から察すると、やや水分を含んだどこか明るい春の雪かもしれない。

賞	入選
作品	雪ばかり見ていて好きを言い逃す
作者	千葉昌美
住所	大阪府
作品	片恋はいつもまっすぐ雪が降る
作者	海老原順子
住所	茨城県
作品	雪降ろす彼に濃い目のレモンティ
作者	南出 えみ子
住所	石川県
作品	くちづけのあと爪立ちて雪払う
作者	山口 良候
住所	東京都
作品	ピッチャーと打者で戯るクリスマス
作者	森貞 和子
住所	岡山県
作品	<small>あれ</small> 彼女の <small>や</small> 家に <small>こい</small> ワの恋と <small>ゆき</small> 雪ふりつもれ
作者	有戸 英明
住所	東京都
作品	風花にアナタがやってくる予感
作者	松下 幸子
住所	兵庫県
作品	雪の道夫のごっつい手を握る
作者	舟部
住所	福島県

選者:大類つとむ氏(山形県現代俳句協会副会長、俳誌「陸」「街」同人)

応募作品数 : 1,943句作品